

# 第5章

---

## 計画の進捗管理

- 1 計画の進捗管理と施策・指標マップ
- 2 進捗管理およびアウトカムの指標

計画の基本理念の実現や、施策のアウトカム（成果）を意識した事業運営、事業の評価・分析に基づく施策の改善などを目的として、第7期計画より「主要施策・指標マップ」を作成しています<sup>1</sup>。

本計画では、施策体系の変更や施策の動向を踏まえ、指標を一部見直しています。

区分	説明
最終アウトカム	基本理念の実現に必要と考えられる要素に着目した指標であり、中間アウトカム（成果）の達成および施策がもたらす最終的な「成果」を指します。
中間アウトカム	最終アウトカム（成果）の達成に必要と考えられる要素に着目した指標であり、施策・事業の実施がもたらす中間的な「成果」を指します。

#### 1) 事業の評価指標等の設定

本計画の基本理念を実現するための本市の取組みについて進捗管理を行い、その結果を評価・分析するために、各施策に位置付けた主要な事業について、計画期間内の年度目標を設定しました。



#### 2) アウトカム（成果）指標等の設定

事業への取組みなどを通じて生じるアウトカム（成果）を測定・分析するため、計画期間内の評価指標および目標を設定しました。



#### 3) 指標の確認、評価、分析

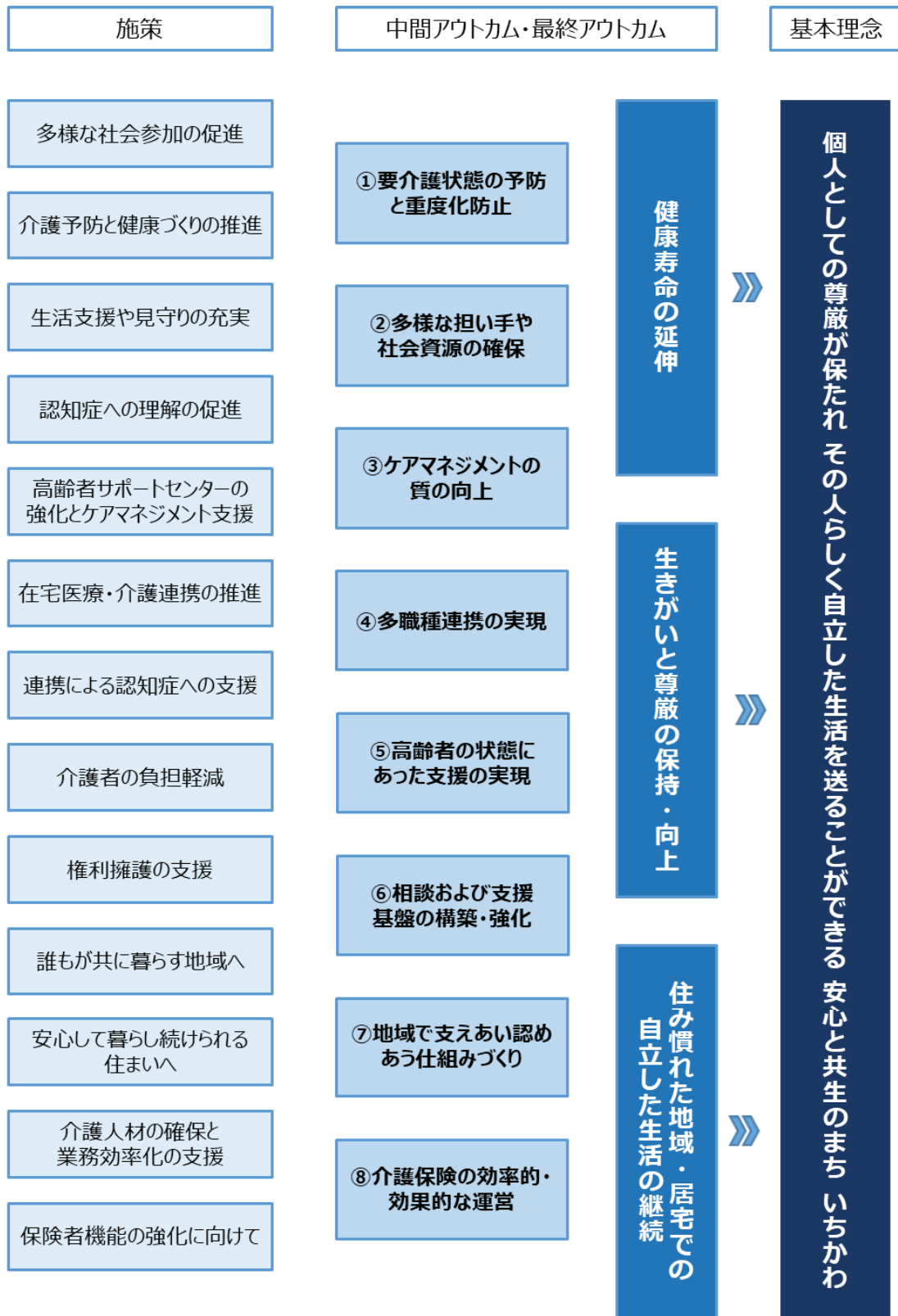
年度ごとに、事業の進捗状況の確認と評価・分析を行います。また、3年間の計画期間を通じてアウトカム指標を確認し、評価・分析を行います。



#### 4) 事業の見直し・改善

各年度の評価・分析に基づき、施策の見直し・改善を行います。さらに、計画期間全体を通じた評価・分析に基づき、次期計画の策定につなげます。

<sup>1</sup> 平成28年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）『地域支援事業の実施状況及び評価指標等に関する調査研究事業 報告書（平成29年3月 株式会社日本総合研究所）』を参考に作成。



## (1) 進捗管理事業の指標

各事業の目標値に対する実績について、年度ごとに評価・分析を行うとともに、遂行に当たっての課題が把握された場合は、改善を図ります。

## ○進捗管理指標

施策		進捗管理事業
基本 目 標 1	(1) 多様な社会参加の促進	社会参加に関する情報提供 いきいきセンターの運営
	(2) 介護予防と健康づくりの推進	いちわかプログラム（通所型短期集中予防サービス事業） わっしょいフレイル予防（介護予防普及啓発事業）
	(3) 生活支援や見守りの充実	市川市地域見守り活動に関する協定
	(4) 認知症への理解の促進	認知症サポーター養成講座の開催
基本 目 標 2	(1) 高齢者サポートセンターの機能強化とケアマネジメント支援	地域ケア個別会議
	(2) 在宅医療・介護連携の推進	在宅医療と介護の切れ目のない提供体制の構築
	(3) 連携による認知症への支援	認知症地域支援推進員の配置
	(4) 介護者の負担軽減	「家族介護教室」や「認知症カフェ」による介護者の支援
	(5) 権利擁護の支援	高齢者虐待を未然に防ぐ取り組み
基本 目 標 3	(1) 誰もが共に暮らす地域へ	「認知症にやさしいお店・事業所」の認定
	(2) 安心して暮らし続ける住まいに向けて	住宅確保要配慮者等民間賃貸住宅あっせん制度
	(3) 介護人材確保と業務効率化の支援	介護に関する入門的研修
	(4) 保険者機能の強化に向けて	地域ケア推進会議

■ 指標の目標値について

「増加」は、把握できる直近の実績（または見込）からの増加を示す。

「→」は、同程度での維持を示す。

進捗管理の指標	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)	令和8年度 (目標)
市公式LINE「通いの場」登録者数	—	1,200人	増加	増加	増加
新規登録人数	538人	400人	→	→	→
プログラム参加人数	10人	40人	増加	増加	増加
市公式LINE「健康長寿」の登録者数	1,980人	2,100人	増加	増加	増加
登録団体数	30団体	32団体	→	増加	増加
学校や職域における認知症サポーター養成講座開催事業所数	14団体	15団体	→	→	→
地域ケア個別会議の開催回数	64回	60回	→	→	→
在宅医療・介護連携推進に関する会議の開催回数	—	3回	3回	3回	3回
認知症ガイドブック（概要版）配架窓口数	—	88カ所	増加	増加	増加
家族介護教室の開催回数	45回	45回	→	→	→
市川市高齢者虐待の防止に関する会議の開催回数	1回	1回	1回	1回	1回
認定事業所数	18事業所	25事業所	増加	増加	増加
あっせん制度の申込件数	44件	45件	→	→	→
入門的研修の参加人数	50人	40人	45人	50人	55人
地域ケア推進会議の開催回数	2回	2回	2回	2回	2回

## (2) アウトカム（成果）の指標

計画期間を通じた成果の評価・分析を行い、施策の方向性についての検討材料とします。

### ○アウトカム指標

アウトカム		アウトカム（成果）
中間 ア ウ ト カ ム	① 要介護状態の予防と重度化防止	社会参加する高齢者が増える
		要介護リスクのある高齢者が減る
	② 多様な担い手や社会資源の確保	ボランティア活動に取り組む高齢者が増える
	③ ケアマネジメントの質の向上	自立支援に資するケアマネジメントが増える
	④ 多職種連携の実現	医療・介護関係者の連携が進む
	⑤ 高齢者の状態にあった支援の実現	認知症初期集中支援チームの支援により改善する
	⑥ 相談および支援基盤の構築・強化	高齢者サポートセンターが広く認知される
		高齢者サポートセンターが多くの相談を受けとめる
		支援機関が成年後見制度の相談を受けとめる
⑦ 地域で支えあい認めあう仕組みづくり	認知症者や家族が支援を求めやすい地域になる	
⑧ 介護保険の効率的・効果的な運営	要介護状態が改善している	
	地域で暮らすことを可能にするサービスが整備されている	
最終 ア ウ ト カ ム	健康寿命の延伸	「平均自立期間」が延びる
		要介護等認定を受けずに過ごす平均年齢が上昇する
		主観的健康感の高い高齢者が増加する
	住み慣れた地域での自立した生活の継続	必要とする支援を受けられる高齢者が増える
		自宅や施設で最期まで暮らす高齢者が増える
	生きがいと尊厳の保持・向上	生きがいを感じている高齢者が増える
		認知症になっても希望を持てる高齢者が増える
		幸福感の高い高齢者が増える

■ 指標の目標値について

「増加」は、把握できる直近の実績（または見込）からの増加を示す。  
「→」は、同程度での維持を示す。「↓」は、低下させることを示す。

アウトカムの指標	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)	令和8年度 (目標)
【月1回以上】会・グループ等に参加している高齢者の割合	65.7%	—		増加	
【週1回以上】会・グループ等に参加している高齢者の割合	54.4%	—		増加	
住民主体の「通いの場」に参加する高齢者の割合	6.8%	—		増加	
閉じこもりリスク	10.7%	—		↓	
運動器機能リスク高齢者の割合	12.3%	—		↓	
転倒リスク高齢者の割合	35.9%	—		↓	
認知症リスク高齢者の割合	5.5%	—		↓	
「この1年内でボランティア活動に取り組んだ」高齢者の割合	-	—		20.7%	
介護支援専門員研修受講者へのアンケートでの自己評価	-	※今後把握		向上	
研修参加者のアンケートで「連携が図れている」と回答する割合	97.0%	—		→	
支援の結果「生活のしづらさ」が改善する割合	85.7%	—		増加	
「高齢者サポートセンターを知っている」高齢者の割合	33.0%	—		増加	
高齢者サポートセンターにおける総合相談支援の件数	59,699件	60,000件		増加	
支援機関における成年後見の相談件数	1,978件	1,900件		→	
「自身や家族が認知症になったら、地域の方に伝えて声かけや見守りを願います」と回答する割合	25.2%	—		増加	
介護認定審査会に諮った方の要介護認定の変化率（改善率）	13.4%	※今後把握		増加	
「利用者を支援するうえで必要なサービスが充足されている」と回答するケアマネジャーの割合	-	※今後把握		向上	

要介護2～5の認定を受けていない高齢者の割合	93.7%	—		→	
65歳以上新規認定者の平均年齢	81.4歳	—		増加	
「健康状態が良い」高齢者の割合	57.1%	—		増加	
「日常生活や健康のために必要なことは行政や民間のサービスで概ね提供されていると思う」高齢者の割合	35.3%	—		増加	
死亡者に占める「看取り加算」取得者の割合	13.5%	—		増加	
「生きがいあり」と回答する高齢者の割合	41.7%	—		増加	
「認知症になってもできることをみつけて希望を持って生活したい」高齢者の割合	65.7%	—		増加	
「現在の程度幸せですか」：0～10点（とても幸せ）のうち5点以上と回答する高齢者の割合	85.2%	—		増加	

